

75. 近江町市場

約 200 軒が立ち並ぶ「金沢市民の台所」

近江町市場とは金沢市中心部にある市場で、200 近くの店舗が立ち並ぶ、通称「金沢市民の台所」。近年は観光地としても非常に人気がある。

その歴史は古く、天正 8 (1580) 年頃に始まった朝市を前身に享保 6 (1721) 年、加賀藩の御膳所として生鮮食品の店が近江町に集められたのが始まりといわれる。江戸時代から鮮魚・乾物商や呉服屋、宿屋などが並んでおり、明治 37 (1904) 年に青草辻市場として一般人にも開放された。以来、改修を繰り返しながら長きにわたって金沢最大級の市場として市民の食生活を支えている。

店頭販売はもちろん料亭・寿司店など高級飲食店への卸もしており、県内だけでなく全国から集められた食品が揃う。店員の方言混じりで威勢のいい掛け声が飛び交い、活気にあふれている。鮮魚から海産物、野菜・果物、乾物、肉類、花、衣料品などあらゆるものが揃い、加賀野菜など地物の特産品も多数扱っている。店によって価格交渉に応じてくれるので店員との掛け合いも楽しんでほしい。さらに飲食店も多く、新鮮な魚介類を使った料理を提供してくれる。

市場内は非常に入り組んでおり入り口が 8 つ、通りが 7 本あり、幅もさまざま。基本的に車輛の通行は禁止されている。かねてから老朽化が懸念されていたが、平成 19 年に一部をビルとして改修、同 21 年に完成した。「近江町いちば館」と名付けられたこのビルは地下 1 階、地上 5 階建てで、飲食店や販売店に加え駐車場を完備している。



店員とのかけあいも楽しみのひとつ



商品が所狭しと並ぶ

メモ 朝は品数が豊富、夕方(おおよそ 16 時以降)は鮮魚を値引きしてくれることが多い。飲食店以外は、17 時には営業を終えるので注意。夏場はどじょう・うなぎの蒲焼き、冬場は地物の加能がにや香箱がに、ブリ、甘エビなどが多くなるように、当然だが時期によって並ぶものがまったく違う。また買い食いもでき、魚介の串焼きや揚げ物などがいただける。

問い合わせ先 近江町市場商店街振興組合 TEL076-231-1462

<http://ohmicho-ichiba.com/>